

WebSAM DeploymentManager Ver6.0 紹介資料

2011年 12月
日本電気株式会社

*DeploymentManager*ホームページ: http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/index.html

※本資料の製品名は各社の商標および登録商標です。

DeploymentManagerがターゲットとする課題

マシンの台数が増えていく中、運用管理に**時間・手間**をかけていませんか？

保守 障害時に手間なく短時間で復旧したい

導入 OS導入展開を簡単に実施したい

運用 日常のアップデートを全端末に徹底したい

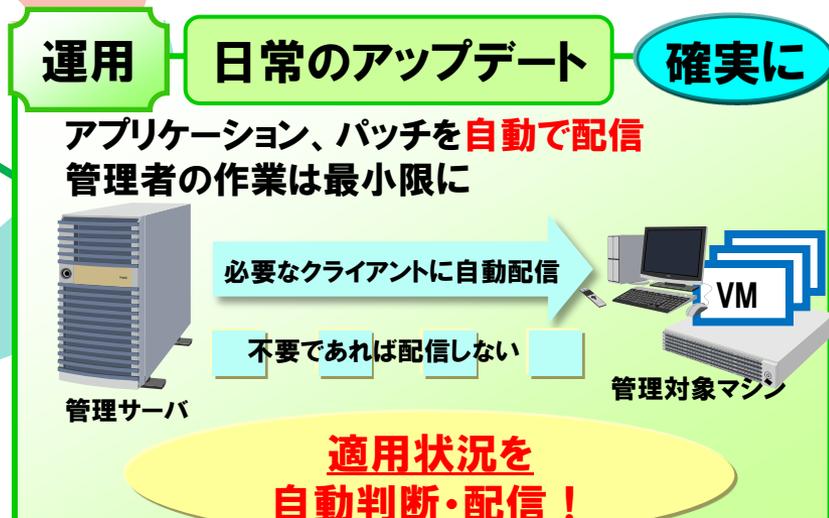
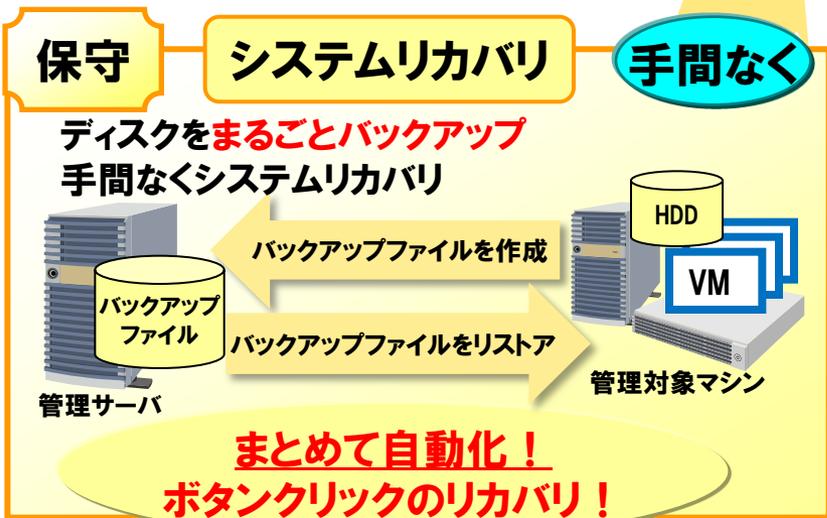
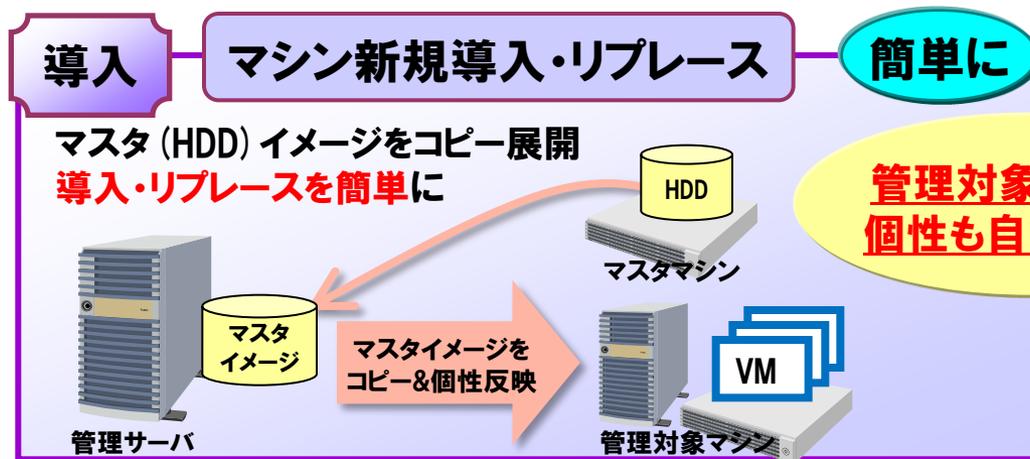


管理対象マシン側で操作を発生させない
管理者主導のリモート管理によって
運用管理コストをトータルで削減！

管理対象マシン側での操作は不要で

マシンライフサイクル全般をカバーした運用管理が可能

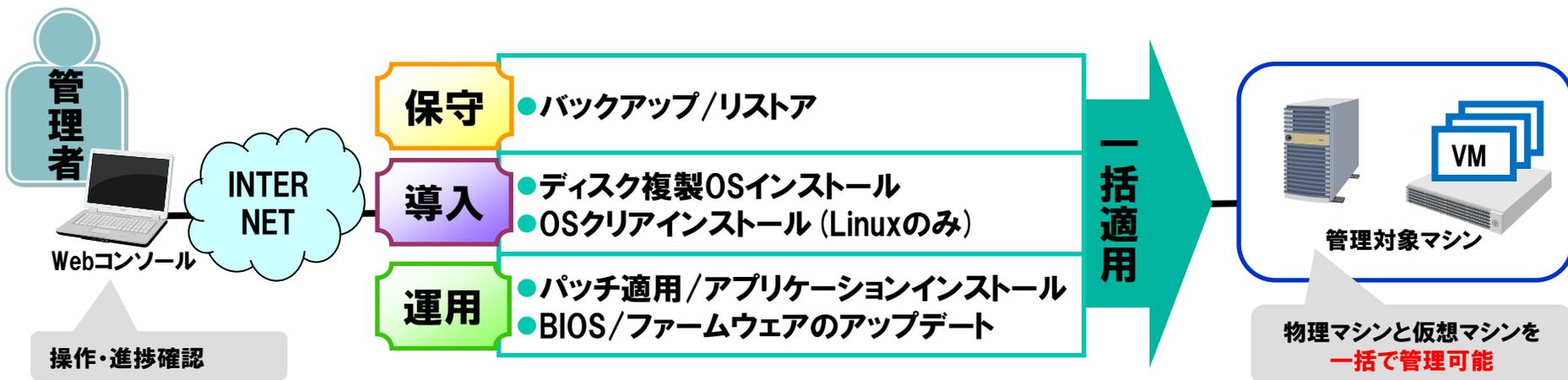
障害復旧・マシン導入・パッチ管理などのマシンライフサイクル全般にわたり**運用管理コストを削減**
物理マシン・仮想マシン (VM) 、Windows・Linux環境を一括で**管理可能**



提供機能

DeploymentManager (以下、DPM) が提供する機能

- バックアップ/リストア
 - 管理対象マシンのシステム (OS) がインストールされているディスクについて、ディスク単位、またはディスク内のパーティション単位でバックアップ/リストアを行うことができます。
- ディスク複製OSインストール
 - バックアップ/リストア機能の応用により、ある1台のマシン (マスタマシン) のディスクイメージを複数台のマシンにクローニング (複製) することができます。
- OSクリアインストール
 - 管理対象マシンに詳細な設定を行いながらLinux OSのクリア (新規) インストールを行うことができます。
- パッチ適用/アプリケーションインストール
 - 管理対象マシンに対して、管理者側からの操作で強制的に (シナリオ方式)、または管理対象マシン側から自動的に (自動更新方式)、パッチ適用/アプリケーションインストールを行うことができます。
- BIOS/ファームウェアのアップデート
 - 管理対象マシンに対して管理者側からの操作でBIOS/ファームウェアのアップデートを行うことができます。



～簡単に・確実に障害復旧が可能

簡単

ディスクをまるごとバックアップ!!
ボタンのクリックの**簡単システムリカバリ!!**

確実

バックアップイメージをそのまま復旧するので、**複雑な復旧手順は不要**
「手順ミス」「ドライバなどの復旧漏れ」など人為的作業ミスの心配不要

簡単な手順でシステムリカバリ!!

- ディスク単位で**バックアップファイル**を作成、1回の操作でバックアップファイルを**そのままリストア**できます。
→今までは数日かっていた復旧作業をわずかな時間で正常業務状態へ戻します。
- リストア時に必要なものは、DPMで実行したバックアップデータのみ!
→他に**媒体などは一切不要**です。

【復旧作業のイメージ図】

従来の復旧手段

OSインストール

ドライバ
セットアップネットワーク
情報などの設定

パッチ適用

アプリケーション
インストール

完了

1からセットアップを
行うため**数日**がかり!

DPMの復旧手段

リストア

完了

1回の操作でリカバリ!
手間なし・手順ミスなし

→詳しくは、機能詳細の **保守** のページをご参照ください。

早い

マスタイメージ (マスタとなるマシンのHDDイメージ) を複数マシンに展開
まったく同じ構成で**多台数のマシンを迅速にセットアップ可能**

簡単

マシンをLANに接続すれば準備OK
コンソール上から1回の操作で**簡単に大量のマシン展開を実現**

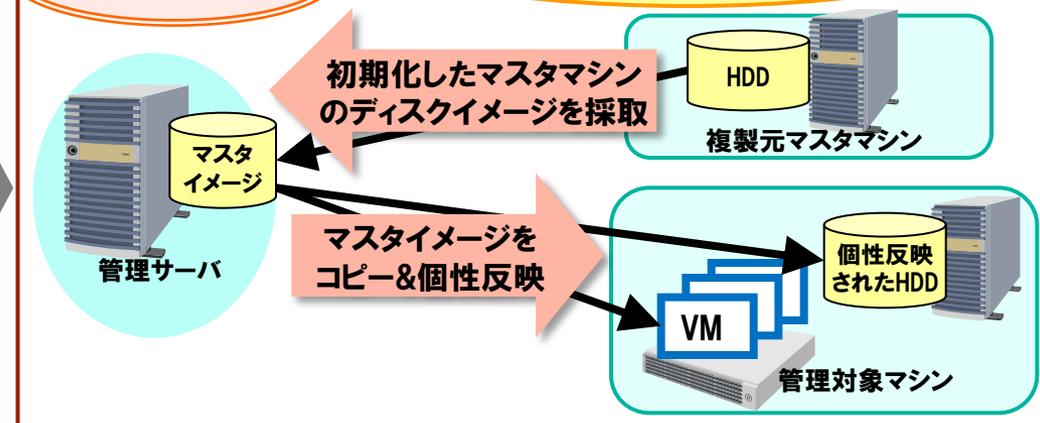
迅速にマシンのクローニング!!

- マスタイメージを複数のマシンに展開して**複数の同じ構成のマシン**を迅速にセットアップすることができます。
- 事前に設定ファイルを準備しておくことで、マシン名・IPアドレスなどのマシンの**個性も自動で反映**できます。
→アプリケーション含め**同じ構成でセットアップしたい**とき有効です。
- 管理対象マシン側での**操作は一切不要**です。

これまでは

- Step1 OSインストール
- Step2 ドライバセットアップ
- Step3 ネットワーク設定
- Step4 パッチ適用
- Step5 アプリケーションインストール

これからは



→詳しくは、機能詳細の **導入** のページをご参照ください。

パッチ適用/アプリケーションインストール

～需要の多いパッチ強制適用ツールの決定版！

确实

管理者側からの操作で**強制的に全マシンへのパッチ適用**が可能

簡単

管理対象マシン側から**自動的に適用対象を判別しパッチ適用**が可能

パッチ/アプリケーション適用方式

●シナリオ方式

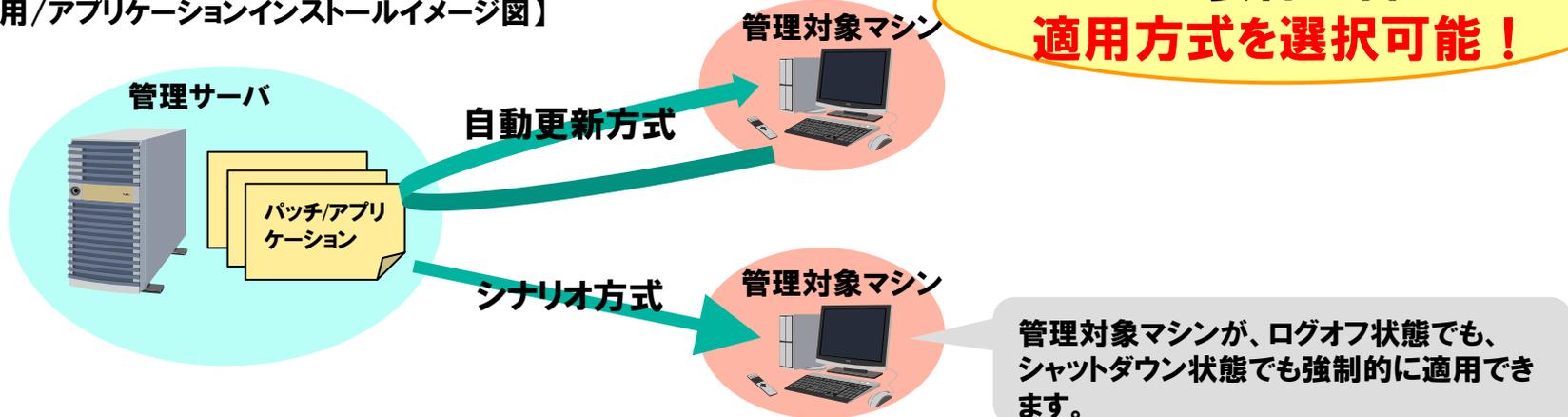
→管理者側からの操作で**強制的に全マシンへパッチを適用**する方式です。

●自動更新方式

→管理対象マシン側から**自動的に適用対象を判別しパッチを適用**する方式です。

Microsoft社以外のパッチも適用可能

【パッチ適用/アプリケーションインストールイメージ図】



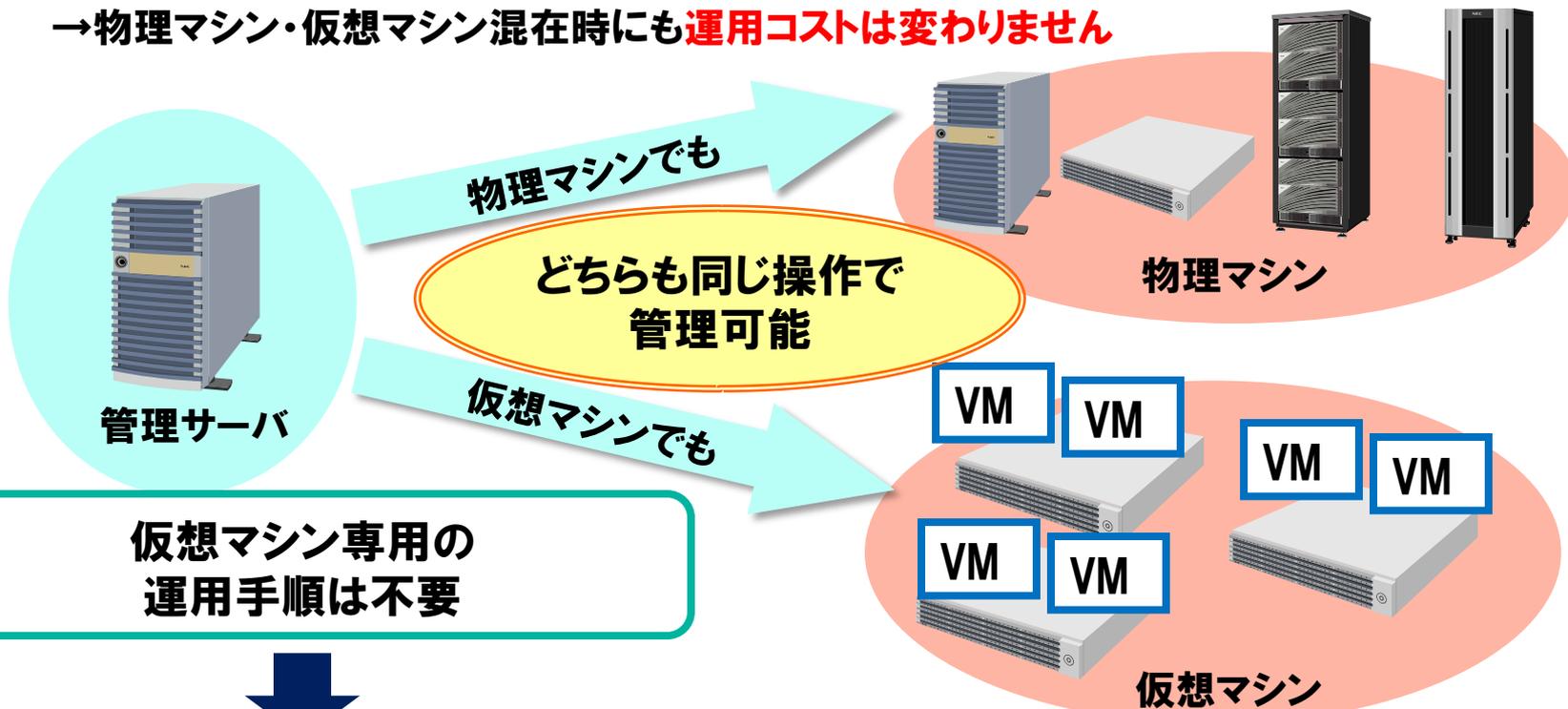
→詳しくは、機能詳細の **管理** のページをご参照ください。

仮想マシン環境にも対応

簡単

物理マシンと仮想マシン (VM) の両方に対応し、**同じ操作で管理可能**

仮想マシンについても物理マシンと同様に対応し、同じ操作で管理可能
→物理マシン・仮想マシン混在時にも**運用コストは変わりません**



機能詳細

機能紹介 ～バックアップ/リストア

ポイント

安全なバックアップ/リストア機能を提供

安全なバックアップ/リストア

- OSをシャットダウンした状態でバックアップを行うことにより、リストア後に**安全にOS起動できる静止点が確保されたバックアップイメージの作成が可能です。**

ディスク構成を事前に確認

- ディスク構成チェック機能により、バックアップ/リストアの実行を行う前に管理対象マシンの**ハードディスク構成 (HDDの台数やパーティション構成) を事前に確認することが可能です。**

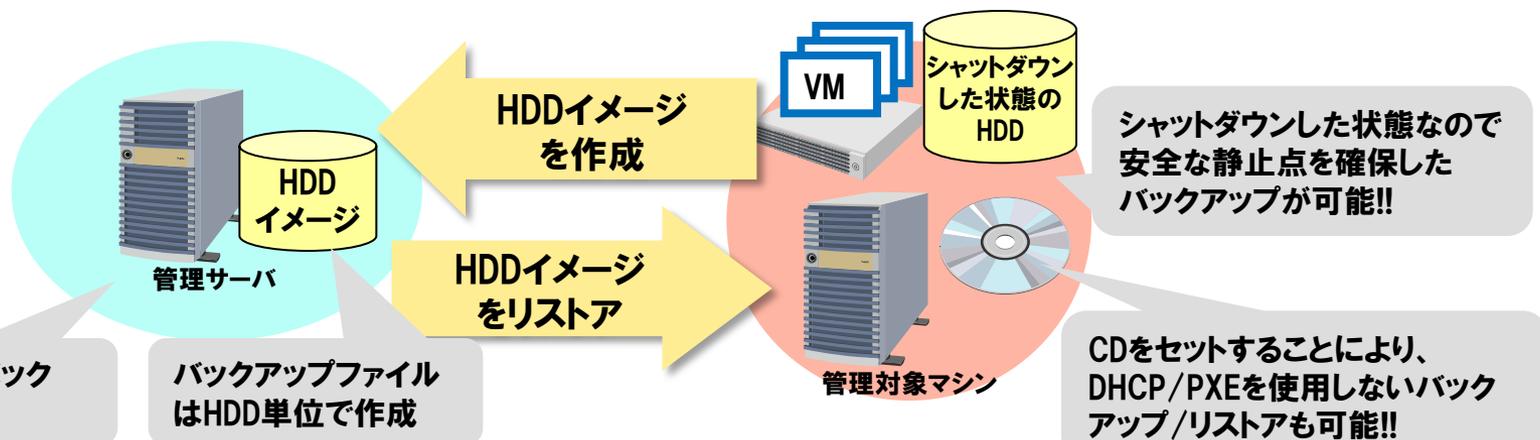
定期的なバックアップに対応！

- システムバックアップを指定時刻、あるいは定期的 (週単位、月単位など) に実行できます。

DHCP、PXEを使用しないバックアップ/リストアを実現

- 専用CDを対象マシンにセットすることで、DHCP、PXEを使用しないでバックアップ/リストアが可能です。

【バックアップ/リストアイメージ図】



機能紹介 ～バックアップ/リストア

ポイント

イメージファイル保存先の**圧迫を軽減**

ディスク単位またはパーティション単位を選択可能

バックアップ方式を選択可能

- 有効セクタバックアップ

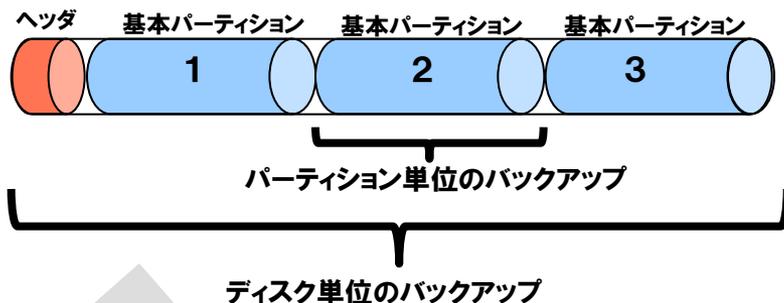
→バックアップ時、ディスク・パーティション内の有効セクタのみをバックアップすることにより、**必要なデータのみ**を採取し、バックアップイメージファイルに保存することが可能です。

- フルセクタバックアップ

→ディスク上のすべてのセクタをバックアップする方式です。有効セクタバックアップに対応していないファイルシステムであってもバックアップ可能です。

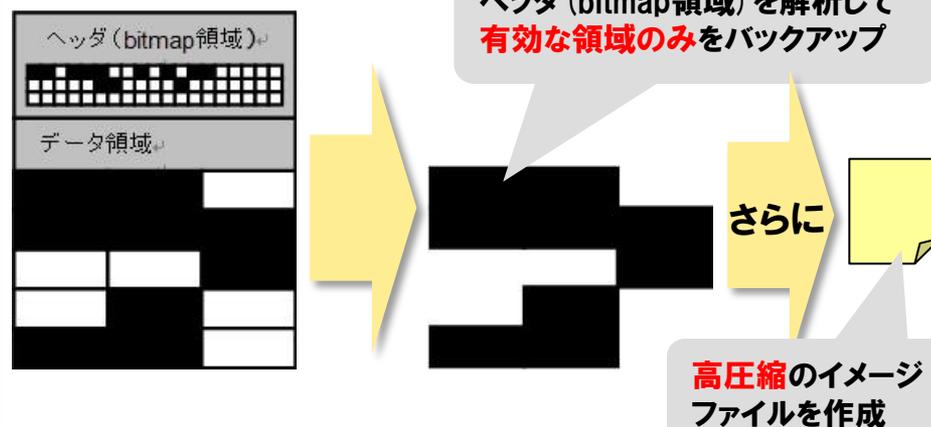
有効セクタ方式、フルセクタ方式のいずれのバックアップ方式でも**バックアップイメージデータを高圧縮**

【ディスク単位/パーティション単位のバックアップイメージ図】



ディスク単位とパーティション単位を選択可能

【有効セクタバックアップのイメージ図】



機能紹介 ～ディスク複製OSインストール

ポイント

複数のマシンを**同じ構成でセットアップ**したいときに有効！

マスタマシンのマスタイメージを各対象マシンに一斉にコピー

→マシン名・IPアドレスなどの**マシンの個性も、自動で反映**します。

→もちろんターゲット側での**操作は一切不要**です。

バックアップ/リストア機能の応用により、複数台のマシンを**高速でセットアップ**可能

マルチキャスト配信により、ネットワーク負荷をかけずに大量のマシンに展開可能

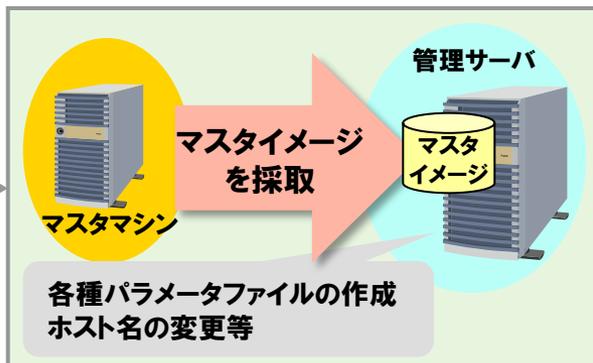
物理マシン・仮想マシン (VM)、Windows・Linux環境を一括で管理可能

【ディスク複製OSインストール工程図】

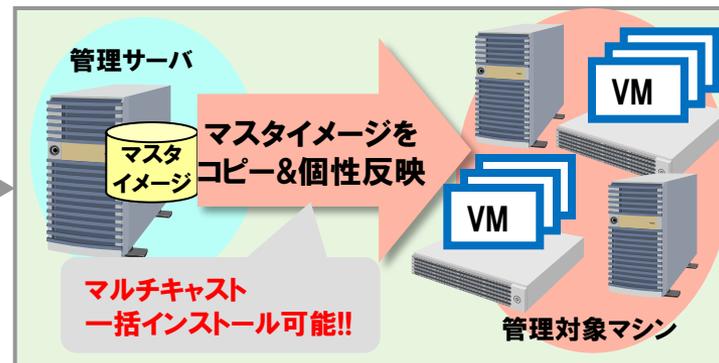
ステップ1 マスタマシンをセットアップ



ステップ2 管理サーバにイメージを登録



ステップ3 管理対象マシンにイメージを展開



全工程を通してセットアップ作業は**1度**だけ！！

機能紹介 ～OSクリアインストール

ポイント

管理対象マシンごとに

詳細な設定を行いながらインストールしたい場合に有効！

Linuxの新規インストールをすべてリモート操作から実行

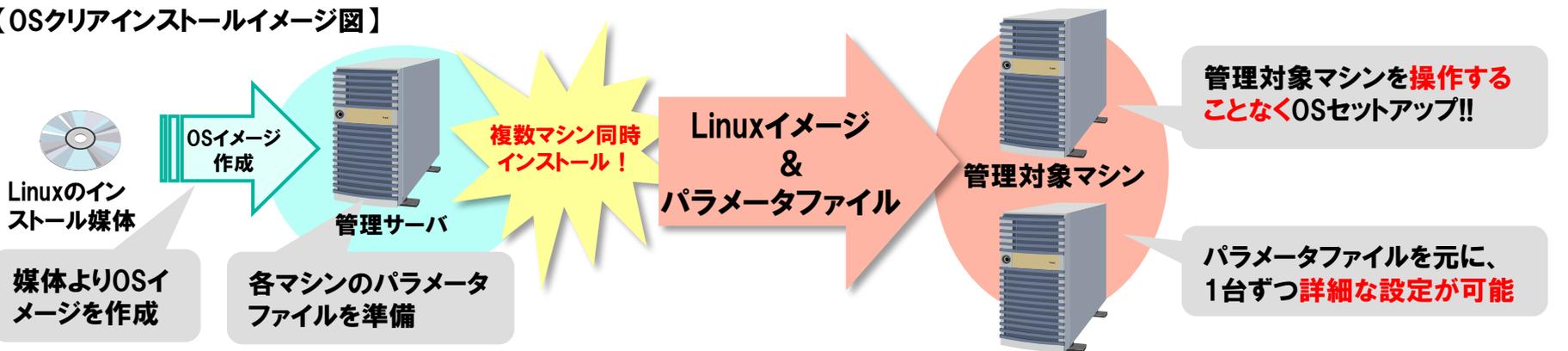
→管理対象マシン側での操作は一切不要です。

各マシンに同時にインストール可能。OSセットアップは、管理サーバからの1アクションで自動で完了
通常ローカルセットアップで設定すべき各パラメータ値やパーティションサイズやフォーマットなどはすべてリモートから実行可能!!

パラメータ(例)

- ・パーティションサイズ
- ・ホスト名
- ・ネットワークタイプ
- ・IPアドレス
- ・ネットマスク
- ・ゲートウェイ
- ・ネームサーバー
- ・認証方法
- ・ファイアウォール情報 など

【OSクリアインストールイメージ図】



～パッチ適用 / アプリケーションインストール

ポイント

パッケージWebサーバによりパッチを共有化し、一元管理が可能
自動的に配布対象を判別して適切なマシンに配布

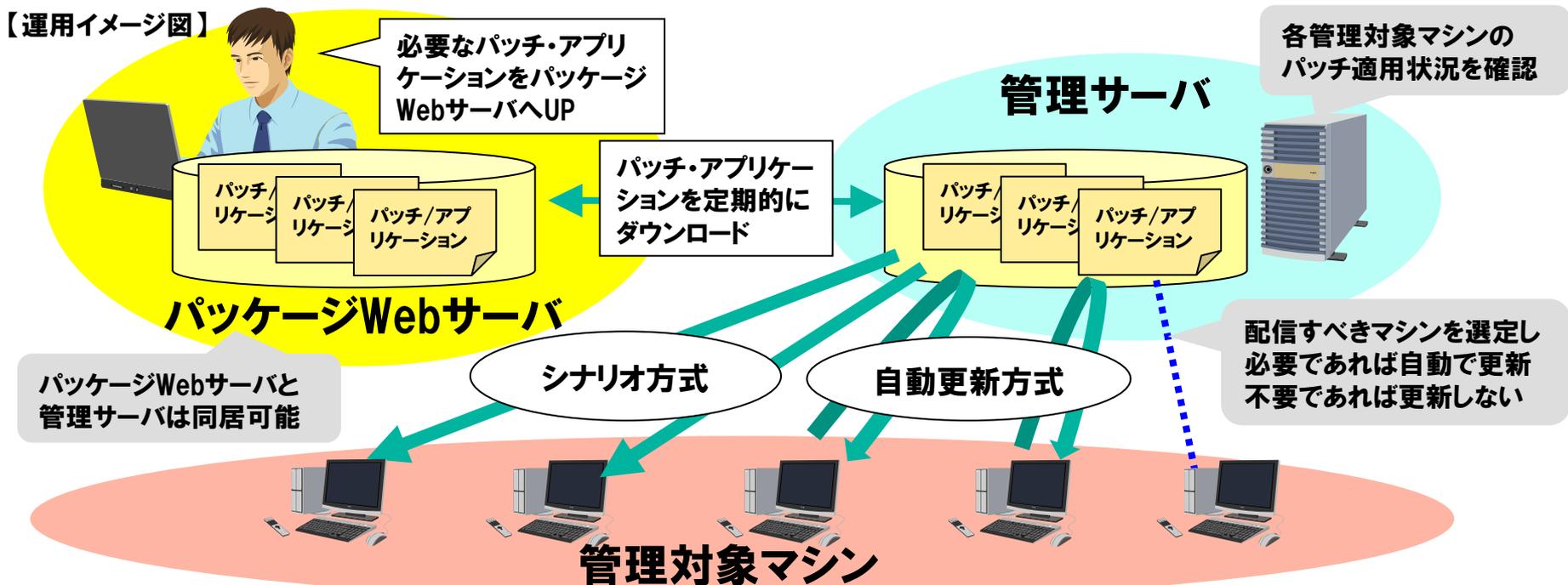
パッケージWebサーバ

- パッケージ (パッチ / アプリケーションをイメージ化したもの) を保存するサーバです。保存されたパッケージは管理サーバにHTTPでダウンロードされます。

適用状況を自動判断・自動更新

- パッケージWebサーバから取得したパッケージを管理対象マシンへ適用するかは、自動的に判断し自動的に更新することができます。
→管理者が各端末のパッチ適用状況を事前に確認する作業を省けます。

【運用イメージ図】



ポイント

管理対象マシンの状態を意識せずパッチ/アプリケーションの配布が可能

管理対象マシンの状態を意識しないパッチ配布

- 管理者権限を必要とするパッチでも配布できます。
- 管理対象マシンにログオンしていない状態でもパッチ適用可能です。
- 管理対象マシンが運用中の場合は、パッチ適用タイミングを次回起動時に指定することが可能です。
- Wake on LAN (リモート電源ON機能) によって管理対象マシンがシャットダウン状態でも適用可能です。

サイレントインストールに対応

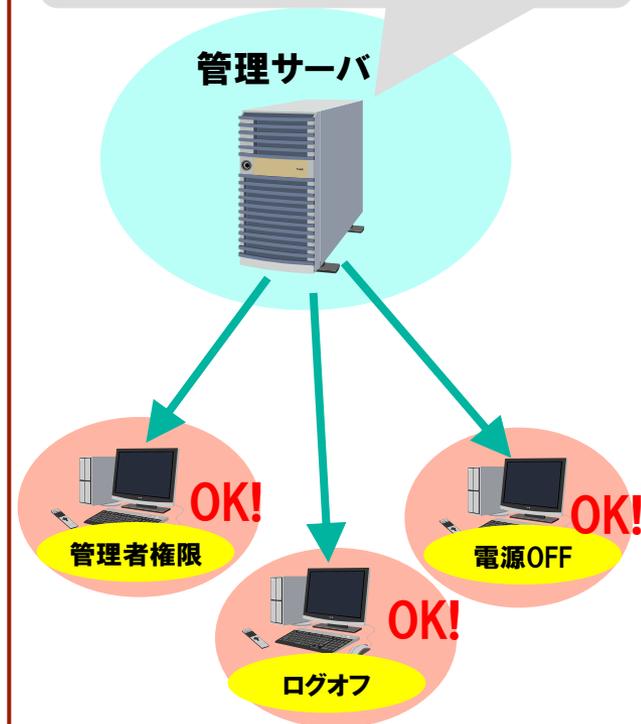
- 配信するインストールイメージをサイレントオプション付きの実行形式で配布します。
- 管理対象マシンの操作をなくし、自動でインストールを完了します。

BIOS/ファームウェア用フロッピーディスクのイメージ配信

- 起動FD形式のBIOS/ファームウェアのアップデートプログラムをリモートから各端末に実行可能です。
- BIOS/ファームウェアのアップデートの際に、従来のフロッピーディスクを挿入する操作を不要にします

【パッチ適用イメージ図】

管理対象マシンの状態を意識せずパッチ/アプリケーションを配布



～シナリオ機能、電源制御、スケジュール実行

シナリオ機能

バックアップ/リストア、各種インストール作業はシナリオを通して行います。

シナリオの共有が可能

- 1つのバックアップ/リストアシナリオを複数の管理対象マシンに対して使用できます。

簡単なシナリオ編集

- 一度作成したシナリオは、あとから何度でも使用、修正可能です。



[シナリオ作成画面]

電源制御

マシンの電源をリモートから管理

- Wake on LAN (リモート電源ON機能) によって、管理サーバから、**管理対象マシンの電源をONしたり、シャットダウン**することができます。

スケジュール実行

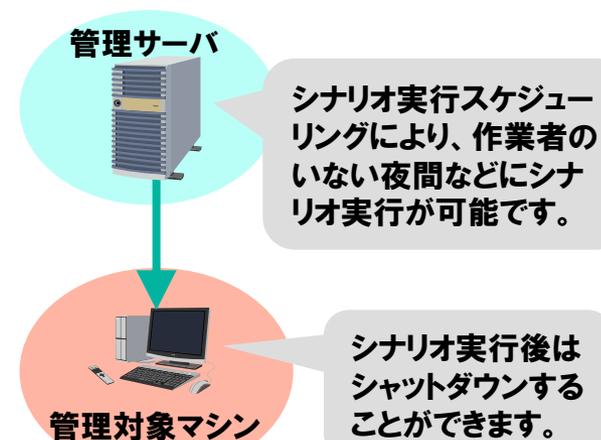
シナリオ実行スケジュールリング

- シナリオを指定時刻、あるいは定期的なスケジュールで実行することができます。
→管理者不在の無人インストールが可能です。

電源制御スケジュールリング

- 電源ON/OFFを指定時刻、あるいは定期的なスケジュールで実行することができます。

【シナリオスケジュールリングイメージ図】



Webコンソール

操作GUIをWebベースで提供

- Webブラウザがあれば、**管理者はどこにいても操作指示が可能**
→異なるネットワークからも配信指示が可能となり、運用性を大幅に向上しています。

コマンドシナリオ実行

コマンドラインの公開により幅広い応用が可能

- **他ジョブ管理ツールなどとの連携が可能**。
→各種インストール作業などをバッチや一連のジョブとしてスケジュール可能です。

セキュリティ/誤操作防止

ユーザ管理により、セキュリティ対策

- ユーザごとに**ログインパスワードの設定**、**権限の設定**を行います。
→第三者の不要なログインを防止し、ユーザに設定された権限ごとにDPMの利用範囲を制限することができるため、セキュリティ対策になります。

ガードパラメータの設定により、誤操作を防止

- 管理サーバ上のさまざまな操作に対して、**パスワードや警告の設定**をかけることができます。

(例) シナリオ作成、シナリオ実行、電源ON/OFFなど



[Webコンソール画面]



[ガードパラメータ設定画面]

～配信オプション、進捗・実行情報

配信オプション

ご使用のネットワーク環境に応じて、マルチキャスト/ユニキャストを選択可能です。

マルチキャスト

- ネットワーク負荷を軽減しながら、一斉に各マシンにイメージを配信
→一回のイメージ配信で、全マシンに対する配信が可能です。

ユニキャスト

- TCP/IPの高信頼の通信
→異なるネットワークのマシンへネットワーク機器の設定なく配信が可能です。

時間差配信や配信データ量をあらかじめコントロール可能

- ネットワーク負荷を考慮して、多台数に配信する場合でも、同時に配信する台数を抑えることができ、その際の配信するデータ量を設定することも可能です。

進捗・実行情報

実行成否の確認

- 各マシンのステータスを表示
- スケジュール適用した場合にも各マシン毎のインストールの成否を翌朝に一目で確認可能です。
- シナリオ実行結果は、**CSV形式に出力可能**です。

インストール中の進捗確認

- インストール中の全マシンに対して、進捗状況をプログレスバーやステータス表示などで一覧表示できます。

The screenshot displays the Deployment Manager web interface. The top section shows a summary of the deployment progress for a scenario, with a progress bar indicating 21% completion. Below this, a table lists the machines being deployed, including their names, IP addresses, MAC addresses, and group names. The bottom section provides detailed information about the current scenario, including its name, type, and execution status.

マシン名	IPアドレス	MACアドレス	グループ名
Client01...	192.168...	00-16-97-1...	Group01

実行状況	進捗
シナリオ名	Backup_Scenario01
種類	バックアップ
実行進捗状況	21%
開始時間	16:10:20
実行経過時間	00:14:52
転送サイズ(MB)	8420 / 19150

[進捗管理画面]

まとめ

DPMの特徴

- 障害復旧・マシン導入・パッチ管理などのマシンライフサイクル全般にわたる機能をまとめて提供
- ファイルシステム解析による有効セクタ(実際に使用している領域)のみのバックアップが可能なほか、未知のファイルシステムでもフルセクタ(使用/未使用全ての領域)バックアップが可能
- ディスク単位、および、パーティション単位でのイメージバックアップが可能
- 圧縮オプションによるバックアップイメージの圧縮が可能
- 物理サーバと同じ運用で仮想サーバ(Virtual Machine)のイメージバックアップが可能
- Windows環境・Linux環境を一括で管理可能
- SANブート構成のサーバでも、システム領域のイメージバックアップが可能
- 電源制御(電源ON/OFF)機能により、サーバの状態(停止、起動)によらないリモートからのイメージバックアップが可能
- スケジュール機能により、ある指定時間での処理実行のほか、定期的な処理実行が可能
- 確認ダイアログの表示/パスワード入力要求などの誤操作防止措置が可能
- バージョンアップ時、管理対象サーバにインストールされているクライアントプログラムの自動アップグレードが可能

安定した性能

- 独自の配信技術によって多台数に一斉配信可能
- 自社製イメージング技術で、障害の復旧時間、OSセットアップ時間を劇的に削減

高い保守性

- ハード・ソフト両面からサポート
特にExpress5800シリーズでは、新機種出荷に伴い、リアルタイムでの検証・対応
 - 特殊なデバイスの実装等の事情により、対応時期が前後することはあります
- ハード・ソフトベンダーである立場を活かし、DeploymentManagerリリース後より9年間、検証、ノウハウを蓄積
- 各機種でご利用の際の詳細な注意事項等を迅速に情報公開可能

豊富な導入実績

- 2002年リリース後より、1000社以上に導入

最新バージョン (Ver6.0) 情報

Ver6.00からVer6.02への新規追加・変更機能

DPM Ver6.00からVer6.02への主な新規追加機能、および機能強化点は、以下となります。

新規追加機能

管理対象マシンのOSとして以下に対応しました。

- Windows 7 Professional x64/Ultimate x64/Enterprise x64
- Red Hat Enterprise Linux 6.1

WebコンソールがInternet Explorer 9に対応しました。

管理対象マシンのOS上のコンピュータ名やホスト名が実際に重複していた場合に、重複した状態のままDPMの管理対象として管理できるようになりました。また、重複したマシン名を画面上で区別したい場合に、識別名を指定することが可能となりました。

重複するマシングループ名、およびシナリオグループ名を指定することが可能となりました（同一階層以外）。

1 マシングループに管理対象マシンを40000 台まで登録することが、可能となりました。

バックアップ/リストア/ディスク構成チェックで使用するDeploy-OS のデフォルト値が変更可能となりました。

DPM Ver6.0 より前に作成したBladeServer グループの情報を含むマシン情報 (CSV ファイル) をそのままインポートすることが可能になりました。

DPM Ver6.00からVer6.02への主な変更点は、以下となります。

変更機能

インストール媒体に含まれる以下の同梱ソフトウェアをバージョンアップしました。

- SQL Server 2008 R2 Express からSQL Server 2008 R2 SP1 Express に変更
- JRE6 Update24からJRE6 Update29に変更

Ver5.1 / 5.2からVer6.0への新規追加機能

DPM Ver5.1/5.2からDPM Ver6.0への主な新規追加機能および機能強化点は以下となります。

項目	説明
新GUI (Webコンソール)	<p>マシンを管理するグループの階層化ができるようになりました。</p> <p>管理対象マシンをグループ間で移動することができるようになりました。</p> <p>シナリオを階層化して管理することができるようになりました。</p> <p>新規マシン一覧から、複数の新規マシンを選択し、一度に同じグループに登録できるようになりました。</p> <p>一覧画面に表示する件数の設定値変更ができるようになりました。</p>
シナリオ	1つのバックアップ/リストアシナリオを複数の管理対象マシンに対して使用できるようになりました。
イメージ管理	バックアップイメージ/パッケージイメージ/OSイメージ/HWイメージをイメージとして管理できるようになりました。
GUIからの設定	バックアップ/リストア/ディスク構成チェック機能で使用するDeploy-OSをWebコンソールから設定できるようになりました。
ユーザ管理	管理サーバへのログインユーザの管理が可能となりました。ログインユーザにユーザ権限を設定することができます。
1TByte制限解除	サイズが1TByteを超えるハードディスクのバックアップ/リストアができるようになりました。
自動フルセクタ	バックアップ/リストアが未対応であったファイルシステムをフルセクタオプションの設定なしで自動的にフルセクタバックアップできるようになりました。
ディスク複製高速化	Windows Vista/Windows7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2については、ディスク複製OSインストールを行った場合に管理対象マシンのセットアップにかかる時間をこれまでより短縮しました。
バージョン確認	LinuxでDPMクライアントのバージョンが確認できるようになりました。

グループの階層管理



ユーザと権限の管理

表示項目によるソート

表示リソース数の変更

【新GUI (Webコンソール) 画面】

【ディスク複製高速化イメージ図】

ディスク複製OSインストールの固有情報反映処理時間が従来比約半分(約25分→約15分)になります。

(例)



Ver5.1 / 5.2からVer6.0への変更・削除機能

DPM Ver5.1/5.2からDPM Ver6.0への主な変更点は以下となります。

変更機能

コンポーネントの構成が変更となりました。DPM5.1/5.2までの管理サーバ for DPM、Webサーバ for DPM、データベースはDPMサーバに統合されました。

WebのベースとなるコンポーネントはTomcatからIISに変更になりました。

管理サーバ、管理対象マシンで動作するサービスの構成が変更になりました。

DPMの製品媒体に含まれるデータベースエンジンがDPM5.1/5.2までのSQL Server 2005 Express EditionからSQL Server 2008 R2 Express Editionに変更となりました。

シナリオファイルでアップデート(サービスバック/セキュリティパッチ)とアプリケーションのタブが1つに統一されました。

シナリオ進行状況・シナリオ実行一覧・バックアップ/リストア実行一覧の画面が統合されました。

DPM Ver6.0ではVer5.1より以下の機能が削除されています。

削除機能

OSクリアインストール (Windows)

パッケージビルダ

AutoRAID、オフライン保守ユーティリティ

以下の連携機能

- SIGMABLADE controllerによる自動登録/強制シャットダウン/電源ON機能
- ESMPRO/ServerAgentによる自動登録/強制シャットダウン機能
- DianaScopeによる電源ON/強制シャットダウン機能

クライアントからのシナリオ実行

活用例

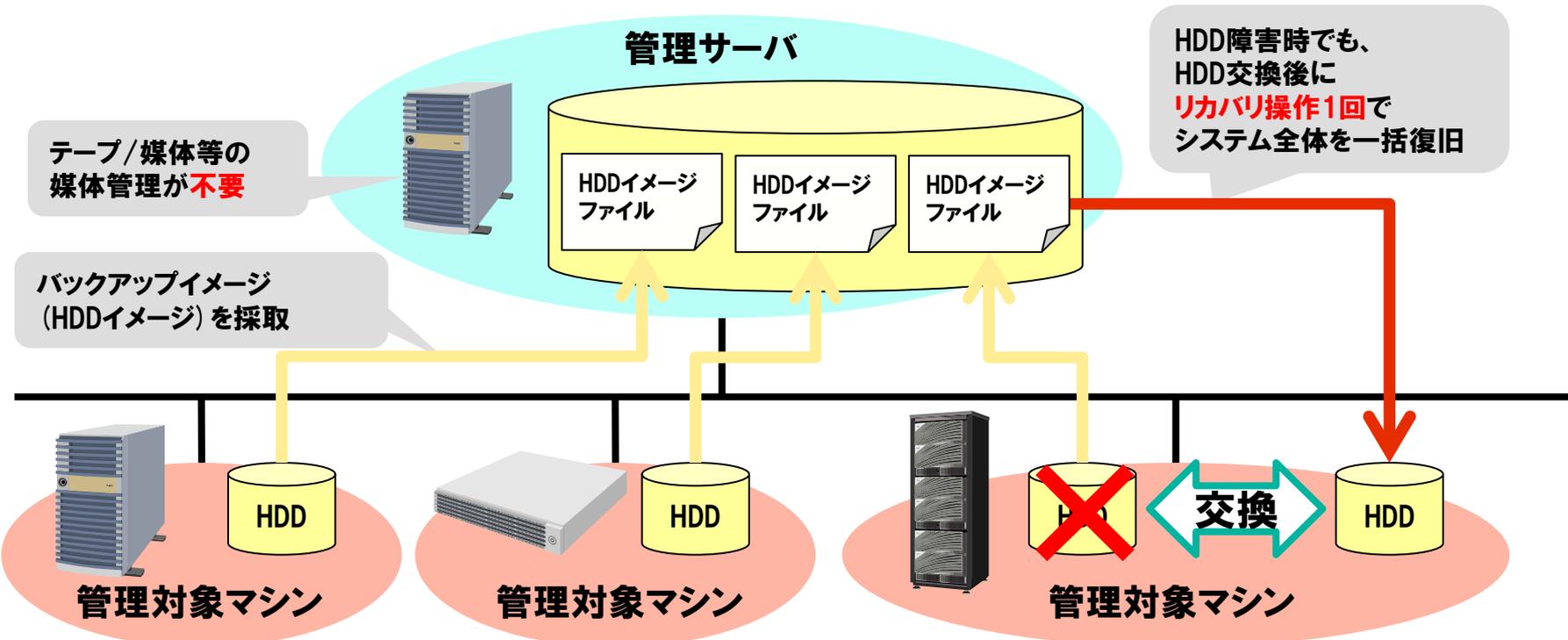
ラックサーバ/ブレードサーバのシステムバックアップ

障害時には
迅速にシステム復旧

バックアップファイル (HDDイメージファイル) を管理サーバで一元管理
障害時には**簡単操作で迅速にリカバリ**

バックアップ/リストア

管理サーバ



テープ/媒体等の
媒体管理が**不要**

バックアップイメージ
(HDDイメージ) を採取

HDD障害時でも、
HDD交換後に
リカバリ操作1回で
システム全体を一括復旧

交換

定性的効果

- リストア手順ミスの排除
- 媒体管理が不要

定量的効果

- バックアップ/リストア
スピード向上

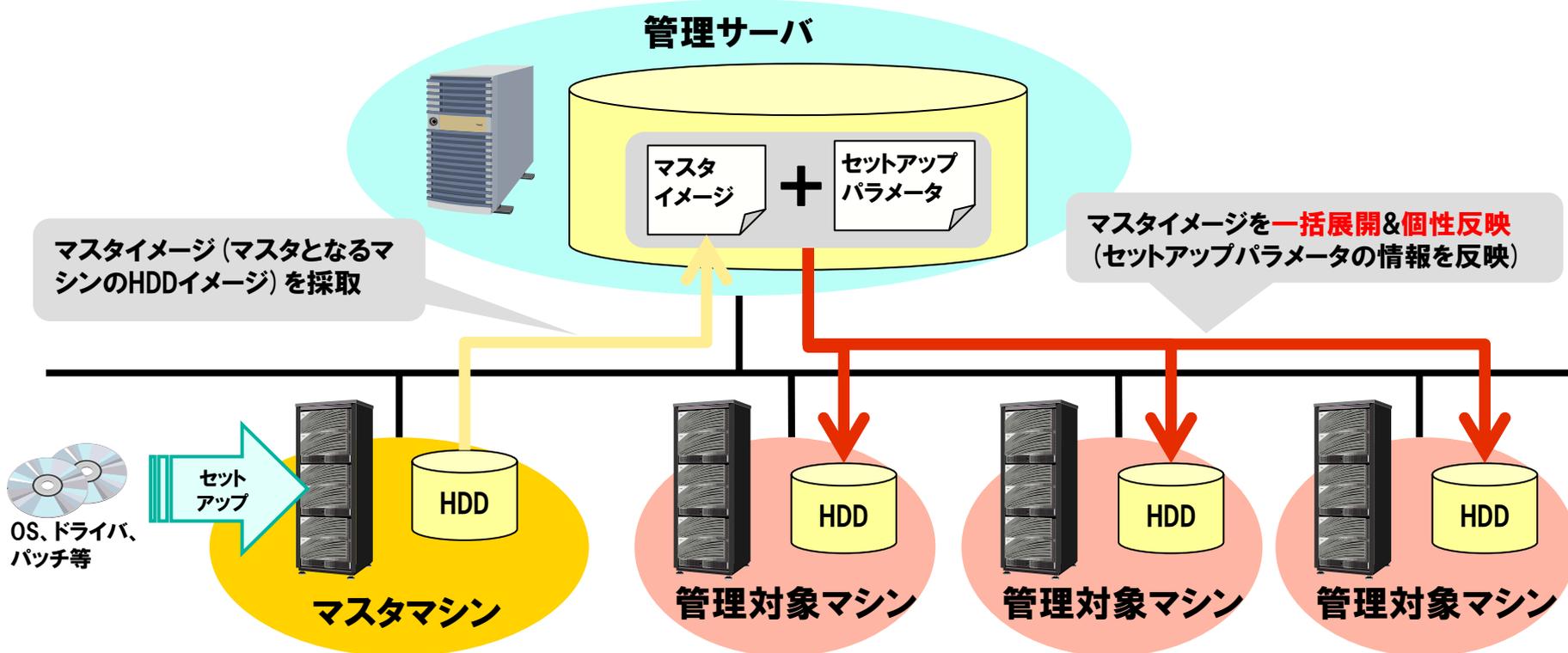


大量にあるマシンの一括インストール

迅速に同一環境のマシンを大量構築

■ マスタイメージを**一括展開**して同一環境のセットアップ

ディスク複製OSインストール



定性的効果

- マシン構築作業の**簡便化**
- 構築期間の**短縮**

定量的効果

- マシン構築作業時間の**短縮**

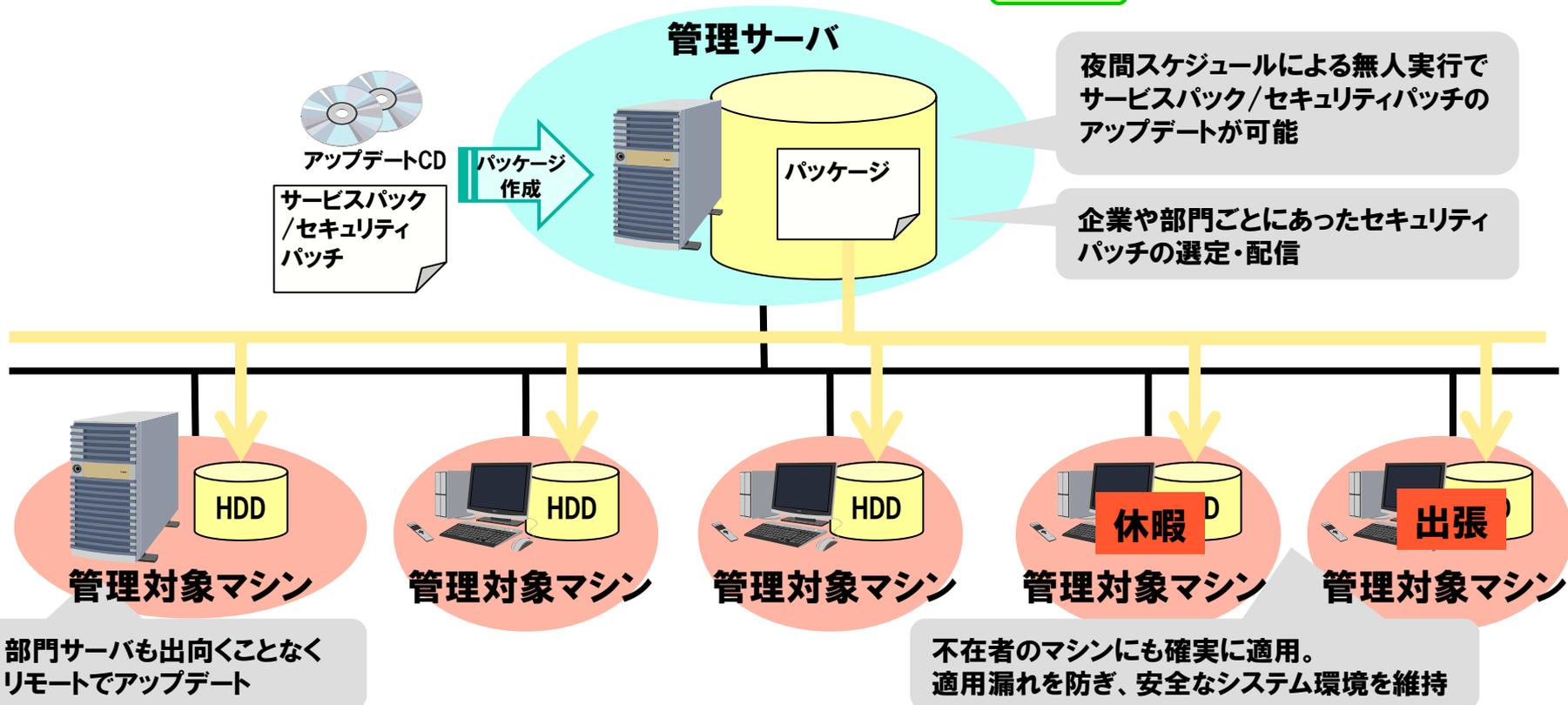


オフィスのパッチ管理

セキュアなオフィス環境を
速やかに構築

サービスパックやセキュリティパッチの一括自動アップデートを実現

パッチ適用



定性的効果

- アップデートの**簡便化**
- **手間無く**最新のセキュリティ状態を維持 (適用作業/適用後の確認作業)

定量的効果

- パッチ適用作業期間の**短縮**



システム構成案内

各種コンポーネントの説明

管理サーバ側の主なコンポーネント

コンポーネント名	説明	どのような場合に必要か
DPMサーバ	管理対象マシンの管理を行い、Webコンソール・DPMコマンドラインからの指示により管理対象マシンに対する処理を実行します。管理対象マシンの構成情報を保存するデータベースも含まれます。	必須です。
Webコンソール	管理対象マシンの状況確認や、管理対象マシンに対する処理を実行するユーザインタフェースです。	インストール作業は不要です。 (必要なコンポーネントはWebブラウザ経由でDPMサーバからダウンロードされます。)
インターネット インフォメーション サービス (IIS)	DPMでWebベースの機能を提供するために使用します。	必須です。 (DPMの製品媒体には含まれませんので、別途、用意する必要があります。)
DHCPサーバ	ネットワークブートによる運用を行う場合にIPアドレスを払い出します。DPMではネットワークブートによる運用とCDブートによる運用を選択できます。	ネットワークブートによる運用を行う場合に必要です。 (DPMの製品媒体には含まれませんので、別途、用意する必要があります。)
イメージビルダ	パッケージ、ディスク複製用のパラメータファイルなどを作成し、管理サーバに登録するツールです。	DPMサーバと共にインストールされます。 管理サーバとは別のマシンからイメージビルダ/コマンドラインを使用する場合は、それぞれ別途インストールが必要です。
DPMコマンドライン	管理対象マシンに対する処理の実行、実行状況の確認を行うコマンドラインインタフェースです。	
パッケージWebサーバ	パッケージを保存するサーバです。保存されたパッケージが管理サーバにHTTPプロトコルを使用してダウンロードされます。	複数の管理サーバにわたって、パッケージを一元的に管理する場合には必要です。
PackageDescriber	パッケージを作成して、パッケージWebサーバへ登録するツールです。パッケージWebサーバ上でも動作可能です。	

管理対象マシン側のコンポーネント

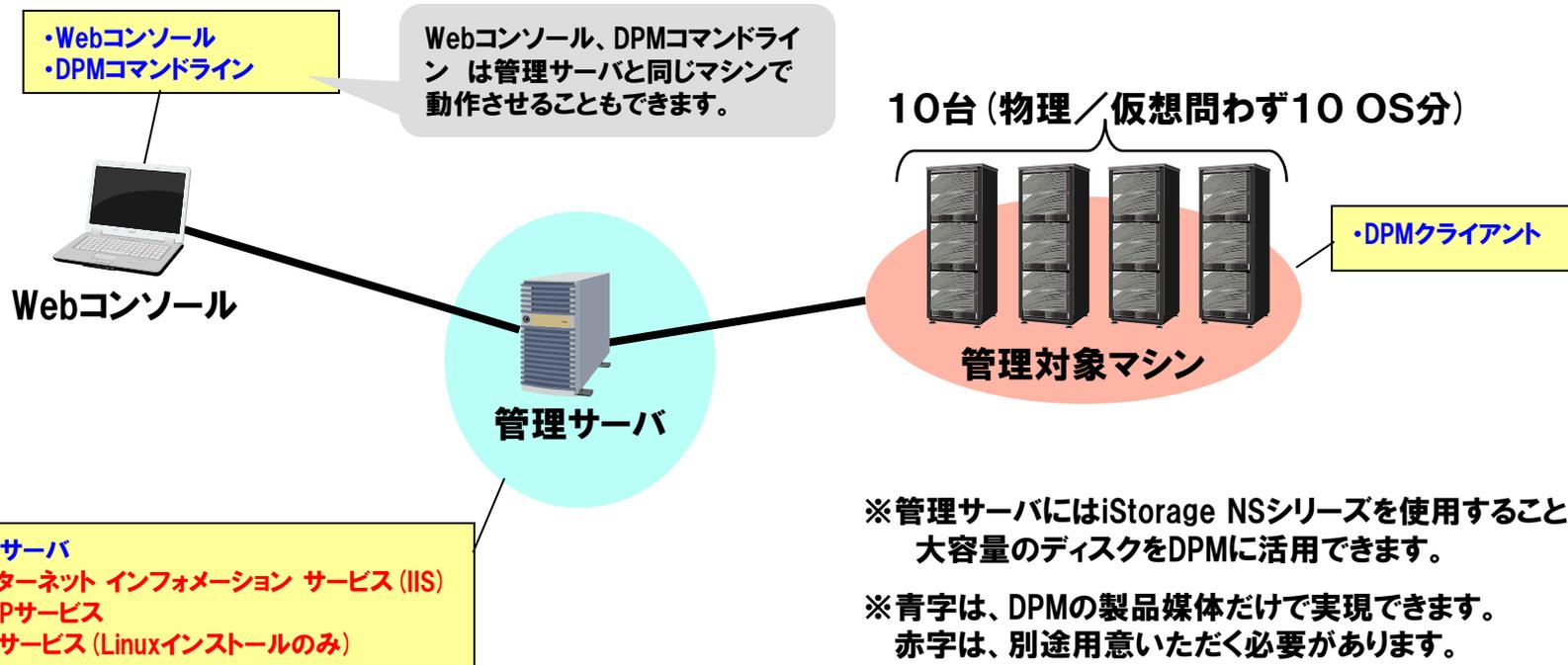
コンポーネント名	説明	どのような場合に必要か
DPMクライアント	DPMサーバとデータの受け渡しを行い、管理対象マシンの動作を制御します。	パッチ適用/アプリケーションインストール、リモートシャットダウン・DPMクライアントによるシナリオ完了の認識を行うためには必須です。

システム構成例～基本構成

構成例と価格

サーバ側のコンポーネントをサーバ1台で動作させた場合の基本的な構成例

型番	製品名	数量	希望小売価格	標準サポート料金
UL1228-501	WebSAM DeploymentManager Ver6.0	1	100,000円	1,300円/月
UL1228-512	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバターゲットライセンス (5)	2	240,000円	3,000円/月
			340,000円	4,300円/月



システム構成例～管理サーバが複数台の構成

構成例と価格

パッチ・アプリケーション等のパッケージをパッケージWebサーバに登録し、複数の管理サーバに配布する場合の構成例

型番	製品名	数量	希望小売価格	標準サポート料金
UL1228-501	WebSAM DeploymentManager Ver6.0	2	200,000円	2,600円/月
UL1228-513	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 クライアントターゲットライセンス (10)	5	650,000円	8,500円/月
			850,000円	11,100円/月

ライセンスは分割できませんので管理サーバごとにそれぞれで管理するマシンの数に応じてライセンスを購入する必要があります。この例の場合、一方に20ライセンス分、一方に30ライセンス分購入する必要があるため、クライアントターゲットライセンス (50) を1本ではなく、クライアントターゲットライセンス (10) を5本購入して頂く必要があります。

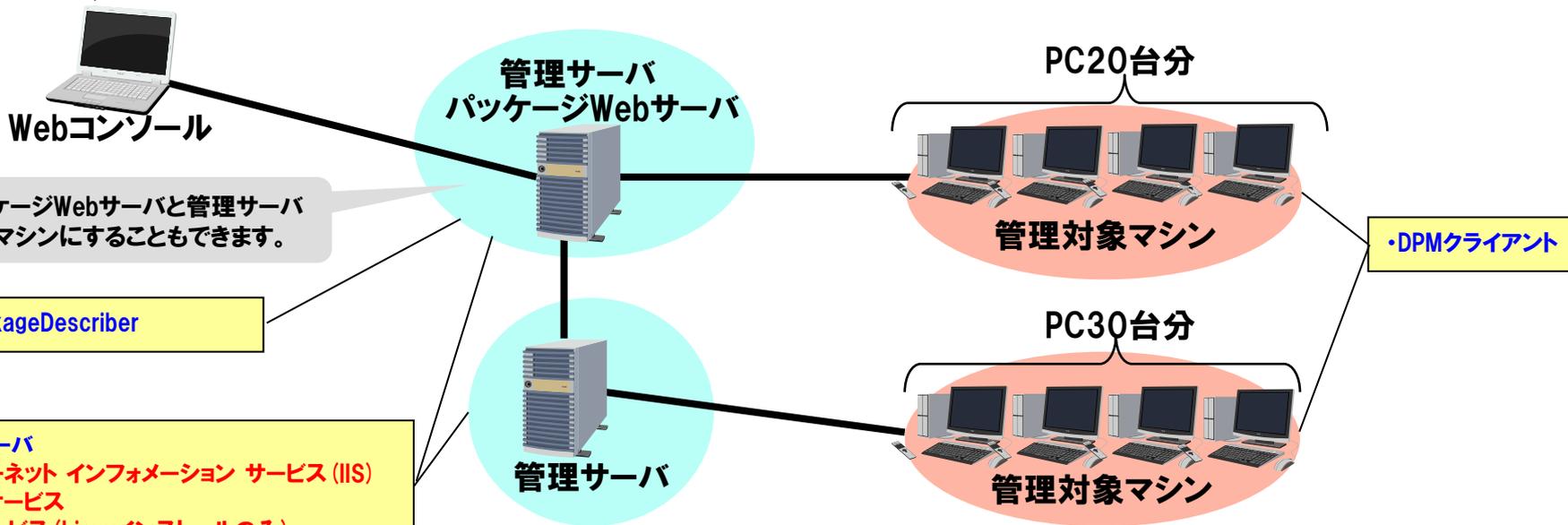
Webコンソール、DPMコマンドラインは管理サーバと同じマシンで動作させることもできます。

- Webコンソール
- DPMコマンドライン

パッケージWebサーバと管理サーバは別マシンにすることもできます。

- PackageDescriber

- DPMサーバ
- インターネット インフォメーション サービス (IIS)
- DHCPサービス
- NFSサービス (Linuxインストールのみ)



システム構成例～クラスタ構成（共有ディスク型）

構成例と価格

管理サーバを構成するクラスタの
ノード数分の本体製品が必要です。

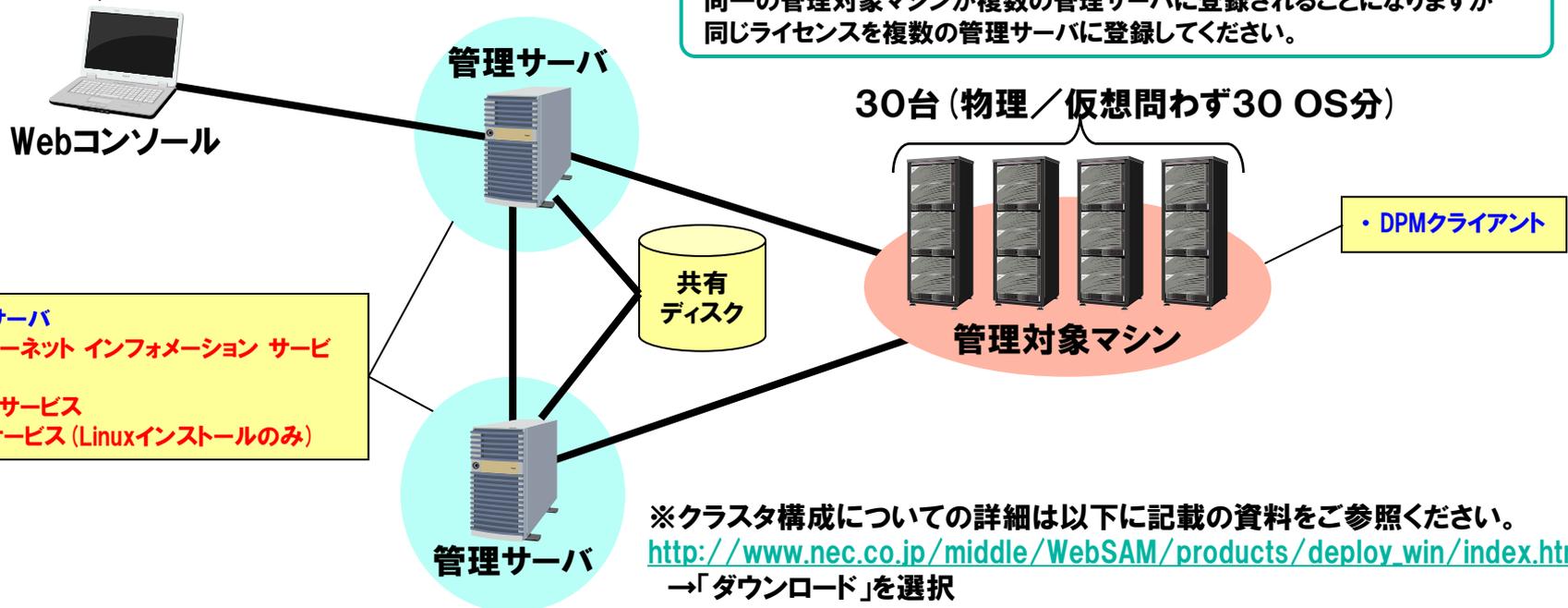
管理サーバのクラスタ構成（共有ディスク型）の場合の構成例

型番	製品名	数量	希望小売価格	標準サポート料金
UL1228-501	WebSAM DeploymentManager Ver6.0	2	200,000円	2,600円/月
UL1228-512	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバターゲットライセンス (5)	2	240,000円	3,000円/月
UL1228-522	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバターゲットライセンス (20)	1	450,000円	5,700円/月
			890,000円	11,300円/月

Webコンソール、DPMコマンドライン
は管理サーバと同じマシンで
動作させることもできます。

- ・Webコンソール
- ・DPMコマンドライン

同一の管理対象マシンが複数の管理サーバに登録されることとなりますが
同じライセンスを複数の管理サーバに登録してください。



※クラスタ構成についての詳細は以下に記載の資料をご参照ください。
http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/index.html
 →「ダウンロード」を選択
 →「クラスタ構築手順書」

WebSAM DeploymentManager 製品一覧

型番	製品名	希望小売価格	標準 サポート料金
UL1228-501	WebSAM DeploymentManager Ver6.0	100,000円	1,300円/月
UL1228-502	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバ ターゲットライセンス (1)	30,000円	1,000円/月
UL1228-512	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバ ターゲットライセンス (5)	120,000円	1,500円/月
UL1228-522	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 サーバ ターゲットライセンス (20)	450,000円	5,700円/月
UL1228-503	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 クライアント ターゲットライセンス (1)	15,000円	1,000円/月
UL1228-513	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 クライアント ターゲットライセンス (10)	130,000円	1,700円/月
UL1228-523	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 クライアント ターゲットライセンス (50)	600,000円	7,500円/月
UL1228-533	WebSAM DeploymentManager Ver6.0 クライアント ターゲットライセンス (100)	1,000,000円	12,500円/月

(注意事項)

- 管理サーバ1台に、本体製品 (UL1228-501) が1本必要です。
- サーバターゲットライセンスとは、管理対象マシンがサーバ用途の場合のライセンスを指します。
(Linuxは、サーバライセンスとなります。)
- クライアントターゲットライセンスとは、管理対象マシンがクライアント用途の場合のライセンスを指します。
- 各ライセンス製品は、管理サーバごとにお求めいただく必要があります。
- 保守の内容は、PPサポートサービスホームページをご参照ください。

<http://www.nec.co.jp/support/pp/>

スペックの確認 (1/5)

DPM6.0の対応状況
(2011年12月現在)

		DPMサーバ
CPU	Intel Pentium プロセッサ (1.8GHz) 以上	
メモリ容量	約156MByte ただし、後述の「SW環境」の「その他」に記載の各サービスで使用するメモリ容量は含んでいません。 また、以下の操作をする場合は、別途メモリ容量が必要になります。	
	管理対象マシンを1台登録した場合	約0.3MByte
	シナリオを1つ作成した場合	約0.07MByte
	同時にシナリオを実行する台数が1台増えるごとに	約8.5MByte
	自動更新を実行する台数が1台増えるごとに	約0.2MByte
	イメージビルダを使用する場合	約40MByte
ディスク容量	約1.9GByte (※4) (DPMサーバのモジュール:約600MByte、SQL Server 2008 R2 SP1 Express:約711MByte、.NET Framework:約620MByte) また、別途データ格納用などにディスク容量が必要です。詳しくはファーストステップガイドをご参照ください。	
対応OS	IA32	Windows Server 2003 Standard Edition (SP2) /Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition (SP2) /Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2008 Standard/Enterprise (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2003 R2 (SP2)
	EM64T	Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (SP1) (※1)
データベースエンジン	Microsoft SQL Server 2008 R2 Express x86/x64 (※2) Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter x86 Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter x64 Microsoft SQL Server 2008 Express/Standard Edition/Enterprise x86/x64 Microsoft SQL Server 2005 Express Edition/Standard Edition/Enterprise Edition x86/x64	
Java実行環境	JRE6 Update29 (※2)	
その他	インターネットインフォメーションサービス (IIS) 6.0/7.0/7.5 .NET Framework 3.5 SP1 (※2) ASP .NET 2.0 DHCPサービス Windows Installer 4.5以上 (※3)	

※1 Full Installationをサポートしています。また、インストールや運用時における操作は、必ずAdministratorユーザで行ってください。

※2 インストール媒体に同梱しています。

※3 Windows Installer 4.5がインストールされていない場合には、インストール媒体に含まれていますので、インストールしてください。
Windows Server 2008 R2については、Windows Installer 4.5がインストール済みです。

※4 DPMサーバのインストール時には、一時的に約3.8GByteの空き容量が必要です。

スペックの確認 (2/5)

DPM6.0の対応状況
(2011年12月現在)

Webコンソール	
対応OS	OSに依存しません。
Webブラウザ	Internet Explorer 7/8/9 (互換モード)、FireFox 3.5/3.6

イメージビルダ (リモートコンソール)	
CPU	Intel Pentium プロセッサ(1.8GHz)以上
メモリ容量	約40MByte
ディスク容量	約11MByte ただし、イメージファイル作成時には、別途一時的に格納する容量が必要
対応OS	IA32 Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SP1/SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP2) Windows Server 2008 Standard/Enterprise (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2003 R2 (SP2) Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise (SPなし/SP1) Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate (SPなし)
	EM64T Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/ SP2) (※1) Windows Storage Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (SP1) (※1)
Java実行環境	JRE6 Update29 (※2)

DPMコマンドライン	
CPU	Intel Pentium プロセッサ(1.8GHz)以上
メモリ容量	約6.0MByte
ディスク容量	約6.3MByte
対応OS	IA32 Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SP1/SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP2) Windows Server 2008 Standard/Enterprise (SPなし/SP2) (※1) Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise (SPなし/SP1) Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate (SPなし) Windows Storage Server 2003 R2 (SP2)
	EM64T Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows 7 Professional x64/Ultimate x64/Enterprise x64 (SPなし/SP1) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (SP1) (※1)

※1 Full Installationをサポートしています。また、インストールや運用時における操作は、必ずAdministratorユーザーで行ってください。

※2 インストール媒体には、JRE6 Update29が含まれています。

スペックの確認 (3/5)

DPM6.0の対応状況
(2011年12月現在)

パッケージWebサーバ	
CPU	Intel Pentium プロセッサ(1.8GHz)以上
メモリ容量	約256MByte
ディスク容量	格納するパッケージのサイズ分必要
対応OS	IA32 Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP1/SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP2) Windows Server 2008 Standard/Enterprise (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2003 R2 (SP2)
	EM64T Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Storage Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (SP1) (※1)
その他	インターネット インフォメーション サービス (IIS) 6.0/7.0/7.5

PackageDescriber	
CPU	Intel Pentium プロセッサ(1.8GHz)以上
メモリ容量	約64MByte
ディスク容量	約1MByte (パッケージの格納用とJREのインストールに約130MByteが別途必要。)
対応OS	IA32 Windows Server 2008 Standard/Enterprise (SPなし/SP2) (※1) Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP1/SP2) Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (SPなし/SP2) Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise (SPなし/SP1) Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate (SPなし) Windows Storage Server 2003 R2 (SP2)
	EM64T Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter (SP1) (※1) Windows 7 Professional x64/Ultimate x64/Enterprise x64 (SPなし/SP1) Windows Storage Server 2008 Standard x64/Enterprise x64 (SPなし/SP2) (※1)
Java実行環境	JRE 6 Update 29 (※2)

※1 Full Installationをサポートしています。また、インストールや運用時における操作は、必ずAdministratorユーザで行ってください。

※2 インストール媒体には、JRE6 Update29が含まれています。

スペックの確認 (4/5)

DPM6.0の対応状況
(2011年12月現在)

DPMクライアント (物理マシン)	
メモリ容量	<ul style="list-style-type: none"> ・DPMクライアントのインストール時に約12MByte必要 ・バックアップ/リストア時に320MByte (768MByte以上推奨) 必要 (※1)
ディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> ・DPMクライアントのインストール時に約10MByte必要 ・バックアップ/リストア可能な最大ディスクサイズは、8TByte以下 (※2) ・バックアップ/リストア可能な最大パーティションサイズは、2TByte以下です。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・100Mbps 以上のLAN ボード (1Gbps 以上を推奨) ・PXE ブート (ネットワークブート) 対応のLAN ボード (DHCP サーバを使用する場合) ・WOL を有効にできるLAN ボード (リモート電源ON が必要な場合) ・Deploy-OS がサポートするデバイス (バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OS インストールを使用する場合) Deploy-OS は、増設LAN ボードは未サポートです。
対応OS (※3)	IA32 Windows Server 2008 Standard/Enterprise Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition Windows 2000 Server/Advanced Server/Professional Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise Windows Vista Business、Enterprise/Ultimate Windows XP Professional Red Hat Enterprise Linux AS3/ES3/AS4/ES4/5 (5.0は除く) / 5 AP (5.0は除く) / 6 SUSE Linux Enterprise 9/10/11
	EM64T Windows Server 2008 Standard x64/Enterprise x64/Datacenter x64 Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter Windows Server 2003 Standard x64 Edition/Enterprise x64 Edition/Datacenter x64 Edition Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition/Enterprise x64 Edition/Datacenter x64 Edition Windows 7 Professional x64/Ultimate x64/Enterprise x64 Red Hat Enterprise Linux AS4 for the x64 Edition/ES4 for the x64Edition/5 (x64) (5.0は除く) / 5 AP (x64) (5.0は除く) / 6 (x64) SUSE Linux Enterprise 9/10/11
	ARM Windows CE 5.0 (※4)

※1 320MByte (最小) の場合パーティションサイズは以下の諸元となります。

NTFS : 256GByte以下
 ext2/ext3 : 512GByte以下
 その他: 2TByte以下

※2 機種によっては、最大ディスクサイズが2TByteとなる場合があります。

詳細については、以下の製品サイトを参照してください。

http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/index.html

→「動作環境」を選択

→「対応装置一覧」を選択

※3 OS によって対応機能が異なります。

詳細については、ファーストステップガイドの「付録 A サポート対応表」を参照してください。

※4 NEC US110のみVirtualPCCenterでサポートしています。

スペックの確認 (5/5)

DPM6.0の対応状況
(2011年12月現在)

	DPMクライアント (仮想環境)
メモリ容量	<ul style="list-style-type: none"> ・DPMクライアントのインストール時に約12MByte必要 ・バックアップ/リストア時に320MByte (768MByte以上推奨) 必要 (※3)
ディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> ・DPMクライアントのインストール時に約10MByte必要 ・バックアップ/リストア可能な最大ディスクサイズは、8TByte以下 ・バックアップ/リストア可能な最大パーティションサイズは、2TByte以下です。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・100Mbps 以上のLAN ボード (1Gbps 以上を推奨) ・PXE ブート (ネットワークブート) 対応のLAN ボード (DHCP サーバを使用する場合) ・WOL を有効にできるLAN ボード (リモート電源ON が必要な場合) ・Deploy-OS がサポートするデバイス (バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製 OS インストールを使用する場合) Deploy-OS は、増設LAN ボードは未サポートです。
ホストOS	VMware ESX Server 3.5/4.0/4.1 VMware ESXi 3.5/4.0/4.1/5.0 Citrix XenServer Enterprise Edition 5.0/ 5.5/5.6/5.6 FP1 Microsoft Hyper-V/Hyper-V2.0 (※1)
ゲストOS (※2)	VMware ESX Server 3.5/4.0/4.1上のゲストOS VMware ESXi 3.5/4.0/4.1/5.0上のゲストOS Microsoft Hyper-V/Hyper-V2.0上のゲストOS (※1)

※1 以下のホストOS上のゲストOSを管理対象にできます。

- ・Hyper-V on Windows Server 2008 x64
- ・Hyper-V2.0 on Windows Server 2008 R2

※2 ゲストOSでサポートするOSは、以下の両方の条件を満たしている必要があります。

- ・各仮想化ソフトウェアがゲストOSとしてサポートしているOS
- ・DPMの管理対象マシンとしてサポートしているOS

各仮想化ソフトウェアがサポートしているOSは、各製品のユーザーズガイド、またはホームページを参照してください。詳細については、ファーストステップガイドの「付録 A サポート対応表」を参照してください。

※3 320MByte (最小) の場合パーティションサイズは以下の諸元となります。

- NTFS : 256GByte以下
- ext2/ext3 : 512GByte以下
- その他 : 2TByte以下

ハードウェア機種依存性のある機能

ハードウェア機種依存性のある機能について

- 以下の機能は、管理対象マシンのディスクを読み込み、ネットワーク経由でデータを送信する処理があるため、DPMで**ディスクコントローラ**と**LANボードのデバイスドライバ**に対応している必要があります。
 - バックアップ/リストア
 - ディスク複製OSインストール
 - BIOS/ファームウェアのアップデート
- Express5800シリーズについてはハードウェア機種依存性のある機能について、開発側にて評価を実施しており、下記URLで対応状況を記載しています。
http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/dousa2.html

Empowered by Innovation

NEC